

第2回全国高校生1億円プロジェクト（億プロ） 募集要項

1. 趣旨

現在 SBP（ソーシャルビジネス・プロジェクト）に取り組む高校は、全国で70校以上と増えていきます。そして多くの SBP は、高校・地域・行政等と協力体制を取っており、地域の人材を育て、盛り上げる仕組みとして文部科学省等を中心に位置づけされております。

本プロジェクトは『明るい未来』をテーマに、全国の高校生が社会と繋がりながら協働し、自らがその活動するステージを生み出し躍動する『日本を元気にする未来創造プロジェクト！』です。

そして、SBP に取り組む全国の高校が連携することで、高校生が全国規模での取組を企画・参加できる仕組みを作ることができ、この取組みがさらなる高校生の成長とそれに伴う地域の活性化につながるものと考えています。

また、高校生を中心に周囲のサポートをする大人たちが、様々な課題に柔軟に対応しながら進めていき、将来この仕組みが全国で当たり前になった時には、より素敵な社会になっていると確信しています。

本プロジェクトは、そのような社会を目指し、『取組の披露・交流するステージを高校生自らが創り、全国の高校生が集まれる仕組みを作ることによって人材育成・地域活性化のモデルを構築する』ことの実証を目的として実施します。

2. 主催・後援

主催：一般社団法人未来の大人応援プロジェクト

「第2回全国高校生1億円プロジェクト実行委員会」

後援（案）：青森県教育委員会、五所川原市、鱈ヶ沢町、企業組合でる・そーれ、
特定非営利活動法人 十和田 NPO 子どもセンター・ハピたの

3. SBPとは

SBP は「Social Business Project（ソーシャルビジネスプロジェクト）」の略で、地域の課題などにビジネスの考え方や手法を用いて取り組んでいこうという挑戦です。具体的には高校生を中心とした未来の大人たちが、地域資源（ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業等）と交流し、見直し、活用して“まちづくり“や”ビジネス”を提案していく、そしてその取組を地域で応援し支えていこうというものです。

SBP は、三重県多気町にある相可高等学校食物調理科が運営する高校生レストラン「まごの店」などを先進事例に、2013年4月に三重県立南伊勢高等学校南勢校舎で最初の SBP が立ち上がりました。今、この地域に根ざした取組みが全国に広がっています。

※詳しくは「12. 参考資料（2）SBP に関連する国等の動き」を参照
（その他の情報は一般社団法人未来の大人応援プロジェクト HP へ）

4. 『全国高校生 1 億円プロジェクト』の概要

別添の資料および以下の URL・QR コードよりご確認ください（HP にも掲載予定）。

- ・別添資料『取組概要 全国高校生 1 億円プロジェクト ～未来の大人が未来を創る！～』、
- ・第 1 回全国高校生 1 億円プロジェクトの様子【2022 年 8 月 8 日（月）】

<https://www.youtube.com/watch?v=8y9i9ZVWBtE>



5. 開催日程及び会場

（1）企画運営等に関する web 会議

- ・頻度：月 2 回、1 時間程度開催（学校の試験や行事等を考慮し開催）
- ・使用ソフト：Microsoft Teams（参加校にはアカウント配布）

（2）宿泊

- ・日にち：2023 年 8 月 6 日（日）、7 日（月）
- ・場所：鱒ヶ沢あじがさわキャンピングパーク（長平ながだいせい青少年旅行村しょうねんりょこうそん）

住所：〒038-2712 青森県西津軽郡鱒ヶ沢町長平町甲音羽山 6 5

TEL：0173-72-1571

（3）交流会

- ・日にち：2023 年 8 月 7 日（月）
- ・場所：複合型大型ショッピングセンター ELM（エルム）（イベントホール）
住所：〒037-0004 青森県五所川原市唐笠柳藤巻 517-1（五所川原市役所から車で 5 分程度）
TEL：0173-33-4000

（4）五所川原立佞武多祭りへの参加

- ・日にち：2023 年 8 月 7 日（月）夕方～（立佞武多祭り）
- ・場所：五所川原市役所周辺（参考 次ページの昨年の運行コース）

【祭り会場・運行コース（令和4年度のもの）】



【大まかな行程案】

日程	時間帯	内容
2023 年 8 月 6 日 (日)	日中	各高校、鰯ヶ沢町へ移動
	～17:00 頃	前日入りの高校到着完了 ※合流ポイント①
	18:00 頃	前夜祭（夕食会）
2023 年 8 月 7 日 (月)	9:00	鰯ヶ沢町から五所川原市へ移動
	9:45 頃	当日入りの高校到着完了 ※合流ポイント②
	10:00～16:00	交流会（昼食はエルム内で各自）
	16:00～18:00	会場移動・準備
	18:00～21:00	五所川原立俣武多祭りへ参加（夕食含む）
	21:00～	解散式・鰯ヶ沢町へ移動
2023 年 8 月 8 日 (火)	9:30 頃	振り返り・解散式（後泊した高校のみ）
	10:30 頃	解散

※基本的に参加する高校は、前日入りする「合流ポイント①」、当日合流する「合流ポイント②」のいずれかで、難しい場合は個別に調整いたします。

6. 参加対象

- ・SBPの趣旨に賛同でき、SBP活動として紹介しても良い高校生主体の団体
(生徒会、農業クラブ等の部活動や授業内のプロジェクトのチーム、今回用にチームを結成など、高校の中でどのような枠組みでも可。また、高校の枠を越え他校と組織する団体も参加可)

※五所川原立佞武多の会場等で撮影される動画や写真は後日、当団体のホームページ等に掲載されることがあります。事前にご了承願います。

(注記) 全国高校生1億円プロジェクトにおける「高校生」について

下記の学校に在学している生徒とします(国立・公立・私立は問いません)。

- ・高等学校 ・中等教育学校の後期課程 ・特別支援学校の高等部 ・高等専修学校
- ・高等専門学校(第1学年から第3学年まで) ・その他これらに準ずる教育機関

ただし、科目履修生、聴講生等は対象となりません。

7. 本プロジェクトの進め方・各高校の役割

(1) 本プロジェクトを実施する上での基本的な考え方

本プロジェクトの運営は将来的に企業等からの協賛金等をもとに行う予定ですが、当面は事務局等による費用負担にて進めていきます。高校生の学び・成長の機会を一番に考え、企業から協賛金を集めることが目的とならないよう、高校生の主体性を尊重しながら方向性を確認しつつ取組を進めます。

また、パンフレット印刷や全国版セレクトギフト作成においての高校への費用負担は無いものとし、頂いた協賛金については全て本プロジェクトの推進のための経費等に活用します。

仮に、協賛金の目標額に達しない場合があったとしてもSBPの考え方に基づき、

①足りない運営経費を今後どのように獲得していくか?(別の方法を考える等)

②集まった金額の中でどのように実施していくか?(規模を縮小する等)

を議論しながら、プロジェクト推進の中での学びを重視しながら進めていきます。

ただし、必要な運営経費が足りない場合は、事務局である一般社団法人未来の大人応援プロジェクトが中心となりその不足分を補うものとします。

(2) 本プロジェクトの進め方

①『第1回全国高校生1億円プロジェクト実行員会』と称し、高校生主体の実行委員会形式をとり進めていきます。

②実行委員長を幹事の県(今回は青森県)から選出し、各種企画・製作・現地での運営等を役割分担しながら進めます。

③その他の参加する高校の代表1名を委員として名簿に記載させていただきます。

*実際の活動は、参加する全生徒で行います。

(3) 各高校の関わり方の例

各高校についての本プロジェクトへの関わり方は、以下の3通りを中心に各高校との相談のもと調整をしていきます。

【各高校の役割】

①実行委員会に参加し、企画・運営からの参加（フル参加）

	項目	概要
ア	Web 会議での進捗報告・企画検討	Web 会議へ各高校の委員の参加 (代理やその他メンバーの参加も可)
イ	全国版セレクトギフトの企画、作成、PR 活動等	商品の選定・事業者等への打診、パンフレットの原稿作成など
ウ	交流会の企画・運営	交流会の内容等の企画や当日の運営・参加
エ	五所川原立佞武多祭りへの参加	参加の仕方、当日現地に参加できない高校へのフォローなどについての検討
オ	各種情報発信	各都道府県でのプレスリリース、各自治体や地域等と連携した情報発信
カ	その他	web 会議等の議論を踏まえ必要とされる作業等

②五所川原立佞武多祭り当日の参加・交流会のみの参加（当日のみの参加）

	項目	概要
ア	大交流会への企画・運営	大交流会の内容等の企画や当日の運営・参加
イ	五所川原立佞武多祭りへの参加	参加の仕方、当日現地に参加できない高校へのフォローなどについての検討
ウ	各種情報発信	各都道府県でのプレスリリース、各自治体や地域等と連携した情報発信
エ	その他	web 会議等の議論を踏まえ必要とされる作業等

③web 会議での企画等への参加（五所川原立佞武多祭り当日は不参加）

	項目	概要
ア	全国版セレクトギフトの企画、作成、営業活動等	商品の選定・事業者等への打診、パンフレットの原稿作成など
イ	各種情報発信	各都道府県でのプレスリリース、各自治体や地域等と連携した情報発信
ウ	その他	web 会議等の議論を踏まえ必要とされる作業等

8. 参加費等

本プロジェクトへの参加費は無料です。その他かかる費用についての負担については以下の通りです。その他の費用については随時事務局と相談をいただければと思います。

【本プロジェクトでの費用等の分担】

項目	具体的な内容	事務局	各高校
web 会議での企画等の協議	Microsoft Teams のアカウント発行	○	
	PC、ネット環境等の整備		○
全国版セレクトギフトにかかる費用	各商品の購入費	○	
	箱代、商品紹介パンフレット印刷費	○	
	各都道府県への商品郵送にかかる送料	○	
五所川原立佞武多 当日の交通費	現地までの交通費		○
	現地到着後の移動にかかる交通費 (鰯ヶ沢町⇄五所川原市のバスなど)	○	
交流会での商品等	販売する商品など		○
宿泊費・食事	宿泊費 (2 泊)		○
	行程内の朝食、昼食、夕食の費用 (8 月 6 日 (日) 夕食 8 月 7 日 (月) 朝食、昼食 8 月 8 日 (火) 朝食)	○	△ 8 月 7 日 (月) の 昼食のみ
	イベント保険	○	
	参加校全体で必要な消耗品等	○	
その他	その他協議の上必要な備品類	○	

9. 応募について

(1) 応募方法

事務局：一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 担当中沢までご連絡ください。

メールアドレス：info@mirai-otona.jp

電話：080-1809-2003（中沢携帯）

【全国高校生1億円プロジェクトのページ（現在更新作業中）】

https://mirai-otona.jp/okupro/?fbclid=IwAR2NlHiD0UYFm-BxJFRKaRMdviNrKsALY4zNsLQ1EwhGbL4F_63m6XHWUV0



(2) 応募締切

2023年4月21日（金）

※締切後も随時ご相談いただければ参加のタイミング・関わり具合等調整させていただきます。

(3) 応募に当たっての留意事項

・ご提供いただいた情報及び今後ご提供いただく情報の利用目的は、次のとおりです。

① 御本人の確認

② 応募の受付時の情報（団体名、代表者名、活動内容等）をホームページ等で紹介することがあります。

③ アンケートの実施等による調査・研究及び参考情報の提供

・web会議の様子や当日の活動の様子など関係者が撮影した写真や動画につきましては、広くSBP活動を紹介するためホームページ等で公開し利用させていただきます。

(4) 応募後の連絡

団体の代表者の先生等に対して個別にご連絡をさせていただきます。

10. 会議のスケジュール

本プロジェクトの不明な点の質疑応答のため、電話・メールでのお問い合わせのほか、必要に応じて個別に web 説明会を実施することも可能です。事務局までお問い合わせください。

【web 会議のスケジュール（案）※高校の行事や取組の進捗状況に合わせ調整】

会議	日時	協議内容（案）
第1回	4月21日（金）16:15～	顔合わせ・各高校自己紹介、今年の活動の流れの共有
第2回	4月28日（金）16:15～	テーマ議論・決定、ギフトに入れられそうな商品の紹介等
第3回	5月12日（金）16:15～	商品紹介の原稿進捗等の共有【 <u>原稿出来たところから中沢まで</u> 】 クラウドファンディングページの検討
第4回	5月26日（金）16:15～	【 <u>原稿最終締め切り</u> 】 パンフ表紙、ギフト箱デザイン議論・決定（黒石高校からデザイン提案）
第5回	6月9日（金）16:15～	交流会等内容検討、クラウドファンディングページ公開予定
第6回	6月23日（金）16:15～	交流会等内容検討
第7回	7月7日（金）16:15～	交流会等内容検討
第8回	7月21日（金）16:15～	最終確認
	<u>8月7日（月）</u>	<u>五所川原立俣武多で全員集合</u>
第9回	9月1日（金）16:15～	振り返り・反省会

11. お問い合わせ先

■事務局：一般社団法人未来の大人応援プロジェクト

担当：中沢

メールアドレス：info@mirai-otona.jp

電話：080-1809-2003（中沢携帯）

住所：〒516-0074 三重県伊勢市本町 8-11

HP：<https://mirai-otona.jp/>

①東奧日報（2022年8月9日）

②NHK (2022 年 8 月 30 日)

9

③青森県庁 HP 教育政策課 情報広報グループ（2022 年 7 月 11 日）


青森県


新着情報




メニュー



7月11日（月）、「第1回全国高校生1億円プロジェクト」参加校の生徒12名が和嶋教育長を訪問しました。
本プロジェクトは、高校生が中心となり、ビジネスの手法を用いて地域の諸課題に取り組み、地域活性化を図るための活動です。



生徒の皆さんからは、今年度の第1回プロジェクトの実施に向けて、本県7校の生徒を中心に、準備に取り組んでいるとの報告がありました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた五所川原立役武多祭りでのブース出展ができなかったため、「今年こそは」という生徒の皆さんの意気込みが感じられました。
本県の高校生が他道県8校の生徒と一緒に取り組むことで、あらためて居住地域などに対する関心や愛着を感じることができるとなっており、本県の各地域の将来を担う人材としての活躍が期待されます。



和嶋教育長は、生徒との懇談の中で、自分の考えや意見を仲間に伝え、話し合い、より良いものを生み出すための挑戦や体験の重要性について述べました。そして、「高校生が地域の課題を解決するために、地域の人財や資源を活用して『まちづくり』や『ビジネス』を提案し、活動していくことに期待しています。」と激励しました。

④第1回の当日の様子（未来の大人応援プロジェクト公式 youtube）

<https://www.youtube.com/watch?v=8y9i9ZVWBtE>



(2) SBPに関連する国等の動き

①「第7回全国高校生SBP交流フェア」について（毎年8月に開催）

日時：2022. 8. 20（土）～21（日） 場所：皇學館大学

主催：（一社）未来の大人応援プロジェクト「未来の大人応援プロジェクト実行委員会」

後援：文部科学省、総務省、農水省、経産省、南伊勢町他

②「一億総活躍社会の構築に向けた提言」（2017年5月10日）（自由民主党一億総活躍推進本部）

内容：「高校生や大学生が地域の課題を実際にビジネスの手法を用いて解決する取組（SBP：Social Business Project）は、若者の起業への意欲・関心向上や地域への定着を図る観点からも効果的である。」と提言。

③「教育再生実行会議第十次提言」（2017年6月1日 教育再生実行会議決定）

内容：「地域の教育力を向上させていくための一つの方策として、高校生らがビジネスの手法等を学び、地域の大人とともに地域課題を解決する取組等を促進、支援する。」と提言。

④「まち・ひと・しごと創生総合戦略2017（改訂版）」（2017年12月22日 閣議決定）

内容：「高校生らが地元地方公共団体や関係者と連携しながら、地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していく「地域ビジネス創出事業（SBP：Social Business Project）」の取り組みを促進、支援する。」

⑤「平成29年度 地域政策等に関する調査研究報告会（SBPの取組）」

（2018年6月7日 文科省）

内容：2017～2019年度の3か年にわたり、文科省はSBPに取り組む団体等を対象に、取組による成果や、人材育成に関する効果を検証するとともに、今後取組を行う可能性のある潜在地域も含め、幅広く事例を調査・分析することにより、若者の学びを通じた地域ビジネス創出に当たって必要となる推進体制及び政策的支援の在り方を検討し、全国普及を図ることを目的に実施。

⑥「中央教育審議会 生涯学習科会」においてSBPについての発表（2018年7月23日 文科省）

内容：中教審にてSBPに関するプレゼン。

⑦「SBPに関する映像教材の制作」g a c c o（2018年12月4日 講座開講）

内容：NTTドコモ、文科省、皇學館大学、未来の大人応援プロジェクトが協働し、SBPを全国に紹介するための映像教材を制作する。 映像教材：6分間×21本

⑧「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた 社会教育の振興方策について」（答申）

（2018年12月21日 中央教育審議会）

内容：前述の「中央教育審議会 生涯学習科会」にて行ったSBPについてのプレゼン（2018年7月23日）を受けて、大臣に手交で答申された。

抜粋）高校生の地域との関わりを強化する。特に、高等学校教育改革の観点から、社会教育の人的資源を生かしながら、地域の様々な課題を学び解決に向けた行動を起こす取組を通じて、高校生の学習意欲の向上、地域への愛着を育む機会を設ける。例えば、ソーシャルビジネスの手法により地域の課題を解決する取組（※1）や、高等学校と地方公共団体、大学や専門学校等が協働して地域での系統的な教育を行い、地域を担う人材を育成する取組等は有効と考えられる。

※1）生徒が地域の資源を学び、見直し、その成果を活用するとともに地域の支援も受けて、ソーシャルビジネスの手法により地域の課題を解決していく取組（SBP：Social Business Project）。全国初の事例となった三重県立南伊勢高等学校では、SBPの取組（セレクトギフト（町の特産品の詰め合わせ）、ご当地シンボルキャラクターを使った焼きの企画・販売）をきっかけに、廃校の危機を脱したのみならず、高齢化と人口減少に悩む町の活性化にも大きく寄与した。